



「さっぽろっ子環境ウィーク」における SDGs アクション

宣 言

「小さなことから始めよう」

- ・紙作り活動をきっかけに、地球温暖化や森林の減少、絶滅危惧種の存在など環境問題に目を向け、自分たちにできることを探ります。

SDGs アクション

「地球の今を知って、自分たちにできることを考えよう！」



小学校高学年 総合的な学習

「地球にやさしくしよう！」

1、リサイクル紙作り体験をしよう

紙作り活動



2、今、地球がどうなっているのかを知ろう

(参考・札幌市環境教育資料「地球のためにできること」

NHK for school 「地球は放置していても育たない」)

3、自分のテーマを決めて調べよう

児童のスライド

4、調べたことをまとめよう

5、分校のみんなに伝えよう

(集会活動や総合的な活動の時間の中で)

調べたわけ

牛乳パックで紙づくりをしました。僕は、最初紙っぽい紙はできないだろうと思っていましたが、紙ができたのがすごかったです。やってみて、ゴミだけリサイクルすれば使えるものが山ほどあると思いました。



ラッコ

日本では、鳥羽水族館の2頭になりました。食べ物は、カニ、アワビ、ウニ、イカ、コムシ、2枚貝、だそうです。生息地は、カナダ、ロシアアメリカのカリフォルニア州やアラスカです。ラッコは、昔、15万から30万頭いたそうです。



成 果

(児童 A テーマ「ゴミでリサイクルできるもの」)

(児童 B テーマ「絶滅しそうな動物」)

「紙作り活動」はとても興味をもって喜んで取り組みました。そこから、リサイクルや地球環境を結び付けて学ぼううちに、「地球は大変なことになっている。」ということに気がきました。ニュースなどで耳にしている情報もありましたが、自分で調べ活動を進めるうちに、「こんなに絶滅の危機にある動物がいるの？」など驚きの声が聞こえました。スライドを作成しながら、「みんなで頑張りたい。」「リサイクルできるものをもっと探したい。」など、自分の思いを深めている姿を見ることができました。

次年度への取組に向けて

分校の子どもたちは病院で治療中のため、衛生面・安全面から活動に制約があります。その中で、実際に活動可能な取組が「紙作り活動」でした。次年度も、子どもたちの状況に配慮しながら、気づきや新しい視点を生み出すことができるような活動を模索していきたいです。